

◆団体基本情報

No.	5	種別	社会福祉法人	団体名	社会福祉法人 緑仙会		
所在地	〒981-3131 仙台市泉区七北田字大沢鳥谷ケ沢8-11						
電話番号	022-377-3761	FAX番号	022-377-3762		所管 部局	健康福祉局 障害企画課	
団体ホームページ	https://www.ryokusenkai.org/						
代表者職氏名	理事長 早坂 明			設立年月日	平成元年9月1日		
資本金・基本財産	30,000 千円	市の出捐額 (割合)	29,700 千円 (99.0 %)				
設立 目的	多様な福祉サービスが、その利用者の意向を尊重して総合的に提供されるよう創意工夫することにより、利用者が個人の尊厳を保持しつつ、自立した生活を地域生活において営むことができるよう支援すること。						
事業 概要	障害福祉サービス事業の運営・障害者相談支援事業の運営						
評価対象決算期	令和2年4月1日 ~ 令和3年3月31日						

◆人員等の状況

	平成30年度	令和元年度	令和2年度
①常勤役員数	2 人	2 人	2 人
うち市派遣	0 人	0 人	0 人
市退職者	1 人	1 人	1 人
②常勤役員平均年齢	59.0 歳	62.5 歳	63.5 歳
③常勤役員平均年間報酬	0 千円	0 千円	0 千円
④職員数	31 人	30 人	30 人
うち市派遣	0 人	0 人	0 人
市退職者	1 人	1 人	0 人
⑤職員平均年齢	45.2 歳	46.3 歳	48.9 歳
⑥職員平均年間給与	4,271 千円	4,340 千円	4,230 千円

◆主要財務データ

	平成30年度	令和元年度	令和2年度
①当期経常増減額	2,176 千円	△ 460 千円	74 千円
②当期経常外増減額	0 千円	0 千円	0 千円
③当期一般正味財産増減額	2,176 千円	△ 460 千円	74 千円
④一般正味財産期末残高	10,213 千円	9,753 千円	9,827 千円
⑤指定正味財産期末残高	30,557 千円	30,557 千円	30,558 千円
⑥正味財産期末残高	40,770 千円	40,310 千円	40,385 千円
⑦長期借入金残高	0 千円	0 千円	0 千円

◆市の財政的関与

	平成30年度	令和元年度	令和2年度
①市からの補助金	0 千円	0 千円	0 千円
②市からの委託料 (指定管理料含む)	190,407 千円	189,628 千円	186,121 千円
③市に対する収入依存度	92.61 %	92.65 %	92.45 %
④市からの借入金	0 千円	0 千円	0 千円
⑤市からの債務保証に係る債務残高	0 千円	0 千円	0 千円
⑥市からの損失補償に係る債務残高	0 千円	0 千円	0 千円

◆主要事業一覧及び概要

事業名	事業概要	令和2年度事業費
<p>就労移行支援・就労継続支援B型を実施する障害福祉サービス事業所「パルいずみ」の運営</p>	<p>就労移行支援として、就労を希望する65歳未満の精神障害者に対して、就労機会の提供や、就労に必要な知識及び能力の向上のための訓練のほか、求職活動や就職後の職場定着のための支援を行っている。 就労継続支援B型として、通常の事業所に雇用されることが困難な精神障害者に対して、事業所内での自主製品制作（ビーズ等）や下請作業（企業広告等の封入封緘、箱おり等）、事業所外作業などの就労機会の提供、就労に必要な知識及び能力の向上のための訓練その他必要な支援を行っている。</p>	<p>50,274 千円</p>
<p>就労継続支援B型を実施する障害福祉サービス事業所「パル三居沢」の運営</p>	<p>通常の事業所に雇用されることが困難な精神障害者に対し、事業所内受託作業（医療用コルセットの組立て、企業広告等の封入封緘、箱折り等）や自主製品制作のほか事業所外受託作業（清掃作業、除草作業等）の多様な就労機会を提供するとともに、就労に必要な知識及び能力の向上のための訓練その他必要な支援を行っている。</p>	<p>31,971 千円</p>
<p>生活訓練・宿泊型自立訓練・短期入所を実施する障害福祉サービス事業所「ウインディ広瀬川」の運営</p>	<p>自立訓練（生活訓練）・宿泊型自立訓練として、精神障害者に対して、宿泊、家事等を通じ自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、訓練を行うとともに、生活等に関する相談及び助言その他必要な支援を行っている。 また、短期入所事業として、同居家族の援助が困難な場合や単身生活者が休息を希望する場合の一時受入れを行っている。</p>	<p>72,227 千円</p>
<p>障害者相談支援事業所「ほっとすぺーす」の運営</p>	<p>仙台市障害者相談支援事業実施要綱に基づき、障害者等の相談に応じ、必要な情報の提供や福祉サービスの利用援助などを行っている。 障害福祉サービス利用者についてはサービス等利用計画を作成し、ケアマネジメントの手法によりきめ細やかな支援を行っている。</p>	<p>31,650 千円</p>

◆経営評価の総括

項目	外郭団体による総括	所管局によるコメント
1. 公益的使命・市が期待する役割への対応	<p>当法人は、精神障害者の働く場や生活支援の場の設立を願う家族会を前身として平成元年に設立され、市が設置した精神障害者通所授産施設の運営を担うなど、精神障害者の支援に携わってきた実績がある。令和2年度においては、訓練系・就労系の障害福祉サービス事業所と障害者相談支援事業所の一体的・効率的な運営を図るとともに、市の外郭団体としての公益的使命を踏まえ、他の民間事業所では対応の困難な重度の障害者を積極的に受け入れ、丁寧な個別支援に努めた。</p>	<p>民間事業者による障害福祉サービスへの参入が増加している中で、他の民間事業所では受け入れが困難な重度の精神障害者の受け入れを行うなど、一定の公益的使命を果たしている。</p>
2. 業務・組織管理	<p>第三次中期経営計画(平成29年度～平成33年度)に即して事業所が策定した令和2年度事業計画に基づき効果的かつ効率的に事業を実施した。特に、常勤職員の8割が精神保健福祉士等の有資格者であることから、その専門性を活かし質の高い支援に努めた。また、法人内においては、令和元年度に策定した職員の業務指針となる「私たちの行動基準」を基に、職員各自が月次の行動目標を策定し、共有することにより、業務改善を進めている。また、仙台女性リーダートレーニング・プログラムに2名を参加させ、人材育成に取り組んだ。</p>	<p>常勤職員の8割が精神保健福祉士等の有資格者であるという高い専門性を生かし、質の高い個別支援を行っている。法人内では、職員の資質及び専門性向上のための研修の充実や法人外の研修の受講、各職員の月次目標の設定と振り返りにより業務改善に取り組んでいる。</p>
3. 財務状況	<p>令和2年度も、指定管理料及び委託料の適切な執行に努めた。 今後も法人の第三次中期経営計画に基づき、財務規律の強化を図っていくとともに特に公益的取組の充実を図り、自主財源の確保にも取り組んで参りたい。</p>	<p>本市からの指定管理料等が収入の大部分を占めており、経営安定化に向けた自主財源の確保や効率的な事業実施の取り組みが必要である。</p>
4. 今後の方向性及び課題	<p>第三次中期経営計画(平成29年度～平成33年度)に掲げた目標達成に向け、引き続き、公益的役割を踏まえた高齢・重度の障害者への対応、地域における生活支援、就労支援の充実に努める。</p>	<p>民間事業者の参入が増加していることから、市の外郭団体として果たすべき役割を踏まえた取り組みをさらに推進していく必要がある。</p>